

ご自由にお持ち帰りください

さくらだより



さくら病院

SAKURA

日本医療機能評価機構認定



健・康・通・信

さくら病院の理念

愛の心と確かな医療技術を以って社会に奉仕する。

Vol. 57



さくらユニット 病棟師長
吉田 さち代

さくらユニットは新病院の本館4階にあります。病床が10床増え24床になりました。それに伴い職員も22名になりました。病室は全て個室で、廊下を挟んで並んでいます。病棟カラーはピンクです。病棟カラーのピンクからも感じられる温かい心のこもった看護、安全で安心できる医療と看護を目指し、職員一丸となって取り組んでいます。病棟の中央付近にスタッフステーションとディルームがあります。ディルームでは自宅のリビングルームでくつろぐような雰囲気を目指し、毎月「さくらカフェ」を開いています。ベランダではイチゴとミニトマトを栽培しています。7月には七夕、12月はクリスマス、3月は雛祭り、3月末にはお花見など季節の行事も行っています。ご家族も参加され患者様と一緒に楽しまれています。

患者様とご家族が前向きに日常を過ごしていただけるよう、私たちスタッフは患者様とご家族と共に病気に向き合うよう心がけています。「ここにきて良かった」と感じていただけるようこれからも頑張っていきます。

新任ごあいさつ



医師 日吉 哲也

4月から勤務しております総合診療科の日吉哲也と申します。これまで関西、関東の方で勉強しておりまして、昨年からは福岡大学病院で勤務しております。総合診療科の存在はテレビなどでご存知の方もいるかもしれませんが、お困りの症状をお話や身体診察を通して診断するというのを専門とする科です。当院では外来や、救急、往診を担当させていただいております。そうした診療を通じて気がついた当院の魅力の一つとして病院受診が困難な患者さんを対象として行っている訪問診療があります。患者さんが外来では遠慮して言えないこと、また住環境の問題点など外来では、十分に解決できないことがありますが、往診ではそういったかゆい所に手がとどき、看護師やケアマネージャーなど多職種で問題解決が図れることが魅力的だと感じました。最後に、私自身がそのような医療の中で役に立てるように努めてまいりますので、よろしくお願いたします。

4月
27日(木)

いきいき公開セミナー

テーマ:「あなたの生活を助ける 道具のあれこれ」

福祉用具ミタカ 柴田 匡久仁 氏



4月27日いきいき公開セミナーを実施しました。内容は福祉用具の選び方と正しい使い方を福祉用具の専門家の方に説明していただきました。その中で、リハビリシューズの選び方と履き方のポイントについて報告します。サイズは足の長さ・横幅・足の甲周囲を図ってサイズを決めます。購入された時は丁度良かったのに、足がむくんできたりしてサイズが合わなくなった時に1つ大きいサイズを購入される方が大半だと思います。しかしそれだと長さも大きくなるので、靴擦れやつまずきやすくなり却って歩きにくくなります。そういう時には同じサイズで横幅を変えて購入してください。3L~17Lまで対応している靴もあります。又、室内用と室外用で靴底の構造が違いますのでできれば履く場所によって靴も履き替えをしてください。足に合った靴でいつまでも元気に外出ができるようにしましょう。

7月
19日(水)

いきいき公開セミナー

テーマ:「心と体のリラクゼーション」

臨床心理士 大嶋 奈歩



今回は、「心と体のリラクゼーション」というテーマで、皆さまと一緒に日頃の疲れを癒してみました。

「リラクゼーション」と聞くとマッサージ店やヨガに通うなどのお金と時間のかかる何か特別なものをイメージされる方もいらっしゃるかもしれませんが、日常的に簡単に活用できる、自分で自分をリラックスさせる方法についてお話ししました。

リラクゼーションは、活発になりすぎた交感神経の働きを静める効果があり、次のような時に有効です。①疲れすぎている時 ②高ぶった気持ちを落ち着かせたい時 ③不眠・頭痛や肩こりなど心の緊張からくるからだの症状がある時、などです。

疲れている時には、正義感や被害感が強まり、自分を責めたり人を責めたりしやすくなりますが、リラクゼーションにより、柔軟な考え方も生まれやすくなります。

実施方法: リラクゼーションは以下の手順で行います。①目を閉じ椅子に座る、または横になる、②全身の力が抜けているか確認する、③ゆっくりの呼吸を意識する、④手や足に心を向ける、⑤雑念が浮かんできてもそのままにして受け流す、⑥背伸びなどで目覚ましをして終了する。

また、疲れていなくても、健康な状態であるうちから意識して自分をケアする時間をとるように心がけることも有効です。心と体のことで、気になることがありましたら、心療内科医や臨床心理士にお気軽にご相談ください。

第19回 さくらフォーラム開催

【開催日時】 5月12日(金) 19:00～ 【場 所】 ソラリア西鉄ホテル

「第19回さくらフォーラム」を今年も開催致しました。今回も多くの医療機関・介護施設の先生方や地域医療連携室の方々にご参加いただきました。

まず始めに院長より開催の挨拶、そして医局・看護部の紹介をしました。今年は病診連携情報として副院長秋満俊介医師より、当院で実施している「心臓リハビリテーション」の取り組みを説明させていただきました。続いて特別講演では、福岡大学病院 長谷川 傑先生より「大腸癌診療の現状と展望」という演題で講演をしていただきました。大腸癌診療の現状を、内視鏡の手術映像を踏まえて説明していただき、大変勉強になりました。

その後の懇親会では、普段あまり顔を合わせる事のない他医療機関や施設の方々と、食事をしながら情報交換ができ、お酒も入り和やかな雰囲気となりました。このような場を大切にして、今後の医療連携に活かしていきたいと思えます。



福岡大学医学部 消化器外科 教授 長谷川 傑 先生

青 空 喫 茶

平成29年5月26日



ある晴れた金曜日の昼下がり、新病院本館屋上庭園にて3内科病棟主催による「青空喫茶」が開催されました。

参加者は、患者様・ご家族・通所リハビリ利用者 約80名と、多くの方々に参加していただきました。

お菓子や飲み物などを準備し、油山の新緑の眺めを満喫していただきました。天候にも恵まれ冴えわたる青空と、澄みきった空気を味わいながらの景色は、なんとも最高!でした。

記念撮影をし、充実した約2時間を皆さんと共に楽しく過ごしました。

好評につき次回も継続していく事となりました。

また、たくさんの御参加をお待ちしております。



【認知症ケアゼミ】について

2内科 看護師係長 小林 美保子

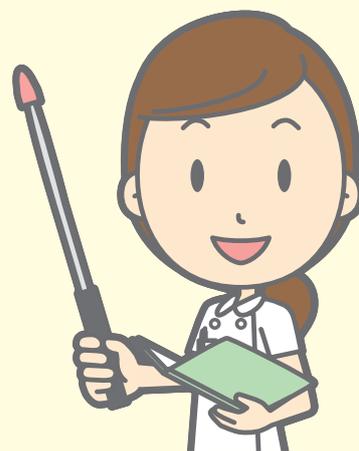
今や、テレビで「認知症」の言葉を聞かない日はありません。NHKや民放でも、認知症について取り上げている番組は多くみられます。それだけ、多くの人々は「認知症」に関心が高いと言えるのではないのでしょうか。2025年までに約700万人に増えると推計される認知症患者。高齢国日本は「認知症大国」の入口に立っていると言えます。

さくら病院においては、2016年度の入院患者の45.0%に何らかの認知症症状がありました。その中で日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする為一人暮らしが困難と判定された患者は26.5%でした。

今後、さらに増加していく認知症患者への適切な対応や関わり方が実践できるようスタッフ全員が同じ知識・技術を習得することが病院においても求められています。

そこで、さくら病院では、2016年度より【認知症ケアゼミ】を開講しています。ゼミでは、認知症についての基礎知識を学習した後、事例検討を行い認知症患者に対するケアの評価を行っています。

前年度のゼミ終了後は、参加したメンバーから「自部署に伝達しました。ユマニチュードを実際行って、患者さんが本当に変わってびっくりしました。」「学習したことを、現場で実際にスタッフに指導することが出来ました。」「認知症についてスタッフの関心が高まりました。」などうれしい言葉を聞くことが出来ました。今後も、認知症患者やその家族への適切なケアが標準化できるよう【認知症ケアゼミ】を有効的な教育の場として、活動していきたいと思えます。



部署
紹介

保育所

昨年11月に保育所も新病院内に移転し、保育士4名で子ども達と楽しく保育所生活を送っております。

テラスには砂場も造って頂き、天候の良い日にはテラスに出て砂場で豪快に遊ぶ姿が見られます。テラスの前を通る看護師さん方に「おはよう」と声を掛けていただいたり、「かわいいね」と言われて大喜びの子ども達です。

また、隣は通所リハビリということもあり、保育所の前を通るおじいちゃん・おばあちゃんに「バイバイ」と手を振ったり「いってらっしゃーい」と声を掛けています。おじいちゃん・おばあちゃんも嬉しそうに手を振りかえして下さり、微笑ましい光景が見られます。

保育室には環境構成に、四季折々の物を取り入れるように心掛けています。夏には、七夕、海の生き物を子どもたちと一緒に作りました。子どもたちは環境の変化にすぐに気づき、指をさしたり声を上げたりして喜んでくれます。

安定した情緒の下で周囲の環境に興味・関心に向け盛んに探索活動をしていけるように、これからも見守り、援助していきたいと思っております。



通所
リハビリ

春のバスハイク ～糸島「伊都菜彩」で季節を楽しむ～

春のバスハイクを5月17日～19日の3日間に糸島の「伊都菜彩」へバス2台で行って来ました。24名の参加者がありました。

天気も良くバスの中でもウキウキと声が弾んでいる状況でした。伊都菜彩では、みなさんそれぞれにお買い物のをされお土産として、お花や果物を買って楽しまれていました。平日でしたがご利用の方がとても多く賑やかでした。

また3時のおやつは、普段室内ですが今回は外の風を感じながらアイスクリームやプリンをおしゃべりしながら食べて楽しいひと時を過ごすことができ、利用者さんも満足そうな表情でした。

通所リハビリテーションでは、年2回の院外イベントとしてバスハイクを計画しています。次回は10月の予定です。



サークル
紹介

ヨガクラブ

ヨガとはサンスクリット語で「繋ぐ」という意味があります。心と身体と魂がつながっている状態のことを表します。

皆さんは、1日の間で、ほんの少しの間、自分の心、自分の身体、自分の呼吸に意識を向けてみる時間はありますか？

ヨガというと、身体の固い人は出来ないというイメージがありますが、そんなことはありません。

誰とも比べずに、自分に意識を向け、心地のいい角度のポーズ、心地のいい呼吸を探るところから始まります。

その日によって身体の柔らかさ・バランス、呼吸の深さも違います。その違いを感じてみてください。

身体が固いから悪い、柔らかいから良い、呼吸が早いからダメではありません。

自分をジャッジせずに、ありのままの自分を見つける。

ヨガのインストラクターの先生をお招きしてレッスンをしてもらっています。



こんにちは!

医療連携相談室です。 どうぞお気軽にご相談ください。

医療連携相談室では、患者様・ご家族からの様々なご相談を承っています。

例えば、当院への入院のご相談・退院後の生活に対する不安・介護サービス等社会資源のご紹介・経済的な問題についてなど、一緒に考えさせていただきます。

また、患者様へ適切な医療が提供できるよう、地域の診療所や病院・施設・在宅サービス事業所等との連携に努めています。

どうぞお気軽にお声かけください。

医療連携相談室

TEL 092-864-1245

FAX 092-864-1213

担当者 医療連携相談室長

江頭省吾

療養支援看護師

井上富士子

医療ソーシャルワーカー

小川美和・松山章子・橋迫千佳・川口康子



相談受付

平日：午前9:00～午後5:00

土曜日：午前9:00～午後12:00

外来診察表

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	第1診察室	江頭 芳樹 総合内科	江頭 芳樹 総合内科	江頭 芳樹 総合内科	天野 角哉 内科/消化器内科	江頭 省吾 内科/循環器内科	
	第2診察室	堀端 智子 内科/消化器内科	村上 修二 内科/診療内科	岩崎 敬雄 リハビリテーション科	江頭 啓介 総合内科	江頭 啓介 総合内科	江頭 啓介 総合内科
	第3診察室	江頭 省吾 内科/循環器内科	王寺 恒治 内科/消化器内科	秋満 俊介 内科/循環器内科	西本 好徳 内科/消化器内科	王寺 恒治 内科/消化器内科	井手 均 糖尿病内科
	第5診察室		矢野 祐依子 循環器内科	天野 角哉 内科/消化器内科	温 麟太郎 呼吸器内科	古屋 陽子 内科/消化器内科	日吉 哲也 総合内科
	第6診察室	楠原 浩之 内科/消化器内科					
午後	第1診察室	古屋 陽子 内科/消化器内科	江頭 省吾 内科/循環器内科	佐々木 秀法 腫瘍血液内科	日吉 哲也 総合内科	堀端 智子 内科/消化器内科	
	第2診察室	村上 修二 内科/診療内科	西本 好徳 内科/消化器内科	林 優佳 神経内科	江頭 啓介 総合内科	江頭 啓介 総合内科	
	第3診察室	秋満 俊介 内科/循環器内科	島津 麻理子 糖尿病内科	王寺 恒治 内科/消化器内科	河野 智愛 糖尿病内科	秋満 俊介 内科/循環器内科	
	第5診察室			佐々木 靖 循環器内科		中園 智美/乙成 淳 心療内科	
	第6診察室				楠原 浩之 内科/緩和ケア内科		
専門外来	午前		村上 心療内科 矢野 循環器内科	岩崎 リハビリ外来	温 麟太郎 呼吸器内科		井手 糖尿病内科
	午後	川添 神経内科 村上 心療内科	島津 糖尿病内科	佐々木(秀) 血液・腫瘍外来 佐々木(靖) 循環器外来(第1通のみ)	楠原 緩和ケア外来 河野 糖尿病内科	安部 脳神経外科 中園/乙成 心療内科	

病院までの交通アクセス

- 地下鉄七隈線/福大前下車1番出口より徒歩10分
- 都市高速/堤ランプより車で3分
- 車/天神より約30分(本館地下に専用駐車場があります)
- バス/西鉄バス(さくら病院前バス停下車)の場合

- 天神方面より: 協和ビル前のりば片江(当)行.....13番
- 西鉄大橋駅より:外環700番

西鉄バス(西片江一丁目バス停下車)の場合

- 天神方面より: 警固神社・三越前のりば片江(当)行.....114番
- 協和ビル前のりば片江(当)行.....12・140番
- 西新・飯倉方面(脇山口)より:95番
- 博多駅方面より: 博多駅前のりば片江(当)行.....16番
- 博多バスターミナル片江(当)行.....12・114番
- 桧原・片江方面より:6・12・16・95・114・140番



医療法人社団 江頭会 さくら病院 サービス付き高齢者向け住宅 社会福祉法人 桜花会 社会福祉法人 桜花会 社会福祉法人 桜花会
在宅医療介護センターさくら ホスピコート長尾 ライフケア大手門 特別介護老人ホーム ライフケアしかた ライフケア柏原

〒814-0143 福岡市城南区南片江6丁目2-32
TEL092-864-1212 FAX092-865-4570 E-mail:info@sakurahp.or.jp
ホームページ: http://www.sakurahp.or.jp/

直通TEL
事務所 092-801-7386
ユニット 092-872-5615
1内科 092-872-5611
2内科 092-872-5612
3内科 092-872-5613